

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和6年9月12日(木)
午前10時39分から午前11時58分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 水野忠三 (副委員長) 鬼頭博和
(委員) 日比野走、井上真砂美、伊藤隆信、塚崎海緒、榊谷規子
- 5 説明員 建設部長 西村忠寿、都市整備課長 加藤淳、整備グループ長 大徳康司、同主査 林雅典
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 御嶽千夏
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) 岩倉市自転車活用推進計画の検討状況について

水野委員長：岩倉市自転車活用推進計画の検討状況について所管課より説明をお願いします。

都市整備課長：資料に基づき説明。委員会で様々な質問が出たが、議事録をホームページで公開しているのでそちらをご参照いただきたい。

水野委員長：質問等あれば。

日比野委員：岩倉市が愛知県で3位の自転車の分担率ということだが、豊山町が名古屋市より上位で1位となっている要因は何か把握しているか。

都市整備課長：豊山町は鉄道が走っておらず公共交通機関が少ないため、自転車が町民の日頃の移動手段となっていることと、岩倉市より平坦な土地であることが要因ではないかと考える。

日比野委員：24ページの自転車事故の発生箇所について、岩倉市役所の南に点が集まっているが、この場所は視界が悪いのか。

都市整備課長：市役所南の西側だが、これは新柳通線である。自動車も自転車も交通量が多いためだと思われる。

榊谷委員：39ページの施策の中の子ども自転車教室の開催とあるが、岩倉は既に高齢者向けの交通安全教室を丁寧にやっている。そういったものを入れてもよいのでは。24ページの自転車事故の発生箇所について、子どもの事故なのか高齢者の事故なのか、判別は難しいか。

都市整備課長：教室の件は現在把握しているところ。委員に協働安全課長が参画しているため、協働安全課の事業を規定していきたい。事故の内訳については委員会でも質問があったため調査中。分かり次第報告する。

塚崎委員：委員会の議事録も見ているが、34ページの自転車通行空間の整備について、車道内に設けることができる路線が少ないという意見があるが、自分

も同感。岩倉総合高校に行く学生の通路が求められていると思う。県道もあまり自転車が走っているところを見たことがない。市民のニーズとやれるところとやれることの調整はどのようにしていくか注視している。

都市整備課長：自転車通行空間を整備していくにあたって道路幅員が必要なので、市内の幹線道路が中心になってくると思う。岩倉総合高校は委員に教頭先生に参画いただいている。自分も通勤するときに高校生が岩倉駅から自転車に乗って学校に向かうところを見ている。どこを通るのかアンケートで聞いているため、そういうところが中心になってくると思っている。県道は先行して県が定めた。市としては県につくってもらう形になるので入れていきたい。

伊藤委員：41 ページの安全利用の啓発について、ヘルメットは実際市内ではほとんどの人が着用していない。今後どのように啓発していくか。いずれ罰則は考えているか。

都市整備課長：ヘルメットの着用義務は現在努力義務として定まっている。委員の言う通り着用率は低い。他課の事業だがヘルメットの購入費補助を行っている。こちらの補助事業と着用推進を計画の中で謳って呼びかけていきたい。

伊藤委員：努力義務ということは、罰則はないということか。

都市整備課長：ない。

水野委員長：他に質問がないようなので質疑を終結する。出席いただいた説明員に感謝する。

(2) 行政調査について

水野委員長：10月29日～30日の調査事項・質問事項について配布した。先方に伝える項目はこの内容でよいか確認したい。

(異議なし)

水野委員長：先方にこの内容で伝える。字句の整理は正副委員長に一任いただきたい。

(異議なし)

水野委員長：2日間宮城県に行った後でもう一度日帰りのできるのではないかとということで候補地を募集したところ、鬼頭副委員長から提案があった。鬼頭副委員長から説明をお願いします。

鬼頭副委員長：資料に基づき説明。

水野委員長：確認したいこと等はあるか。

伊藤委員：面積が12倍で高齢化率が高いということで岩倉市とは違うが様々な取組を行っており良いと思う。賛成する。車で行く場合、車はどうするのか。

鬼頭副委員長：公用車を使用する。

伊藤委員：バスか。

事務局：8人乗りの公用車が使用できそう。かなり狭い状況にはなる。

鬼頭副委員長：レンタカーは借りられるのか。

事務局：レンタカーはそれなりの理由が必要となる。市役所から出発ということだと公用車となる。

水野委員長：他に何かあれば個別に副委員長に確認をお願いする。視察先は東栄町でよいかと、視察時期について諮りたい。早ければ年内となる。年明けの方がよいか。

梶谷委員：東栄町は雪が降る。

水野委員長：3月はいかがか。

梶谷委員：予算議会がある。

水野委員長：まず視察先はここでよいか。

(異議なし)

水野委員長：断られた場合は再度検討する。今日は日程ではなく、大体の時期を決定したい。

塚崎委員：視察先が一般社団法人であることは問題にならないか。

鬼頭副委員長：民間は基本的にはあまりよくないが、行政も関わっている内容であるため。

水野委員長：具体的な日程は次回諮りたい。

鬼頭副委員長：年明けは寒さが問題。

日比野委員：前回検討した予備日に行くことはいかがか。

鬼頭副委員長：22日はふれあいトークになったので21日しかない。

日比野委員：21日で打診してみて無理だった場合に別日程にしてはいかがか。

水野委員長：詳しい日程は数日中に候補日をあげて調整する。視察先は東栄町に決定し、早めに日程を決定する。

(3) その他

なし

9 その他

なし